【授業科目】在宅看護学実習　　Home Care Nursing Practicum

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
北井 真紀子、多次 淳一郎、春名 誠美	３年次 後　期	必　修	２	９０	実　習	あり	巻末 掲載	否

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要 / 在宅看護学は基礎・各領域看護学の学習を基礎とし、多様な療養環境における看護を探求する統合科目である。本科目では、訪問看護ステーションにおいて在宅療養事例 1 例を受け持ち、対象を国際生活機能分類（ICF)の視点から多角的にアセスメントし、計画立案と看護の一部展開を目指す。また受け持ち事例以外にも複数の在宅療養者への訪問、通所介護等の在宅ケア事業所の見学、サービス担当者会議等への参加を通じて在宅療養を支える制度やシステムを理解し、その中での看護の機能・役割について考察を深めることを目指す。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ /事前課題及び実習記録を確認し、コメントを返却する。適宜、個別面談を行う。学内最終カンファレンスを通して、総括的コメントを返す。
実務経験に関する授業内容	訪問看護等の在宅分野の実務経験をもつ教員が、在宅看護の実践に必要となる知識・技術について、在宅療養の実際に関する資料・を交えながら指導していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる。」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①在宅療養者と家族を国際生活機能分類（ICF）の視点で情報収集・アセスメントし、看護上の課題を抽出できる ②在宅療養者と家族の意向をふまえて目標を設定し、看護計画を立案できる。 ③看護計画に基づき療養環境の特性を考慮した看護の一部を実践できる。 ④地域で暮らす療養者と家族を支える保健医療福祉制度やサービス各々が担う役割と相互の連携・協働の方法を説明できる。
時間外学習に必要な内容・時間	※詳細については、実習要項を参照してください。
授業計画	・実習期間は、令和 7 年 9 月 8 日～令和 8 年 2 月 27 日のうち 10 日間 ・実習時間は、原則として、8：30～16：30 ※詳細については、実習要項および実習オリエンテーション時配布資料を参照。 北井 多次 春名
評価方法 評価基準	※詳細については、実習要項を参照してください。
学生への助言等	本実習は、在宅療養される方の生活の場に訪問する実習です。他者の生活の場に入らせていただくのに相応しい身だしなみや言葉使いなど、良識ある言動ができるようになってほしいと思います。 基礎、各専門領域で学修した知識・技術を活かし、つなげることを意識して積極的に学んで下さい